学校番号	1101

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史Ｂβ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校　世界史」　（山川出版）						
副教材等	「明解世界史図説　エスカリエ」　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現在のわれわれの生活も、歴史という時間軸の中に存在していることを理解する。
・歴史的事象の発生および影響について、「なぜ」という視点を持つ。
・歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本と世界の在り方を考える。

２　学習の到達目標

・世界史への興味・関心を高め、主体的に探究していく態度を身につける
・世界史の大きな枠組みと流れを、世界各地の地理的条件や日本史とも関連付けながら理解する
・世界の文化の多様性と、その文化的特質を多角的かつ広い視野から考察し、歴史的思考力を培う
・資料を適切に選択し、資料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につける
・現代社会が直面する諸課題について、世界各地の歴史的観点から考察し、主体的な追究を通して認識を深める

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	世界の歴史に対する関心を高め、文化の多様性とその特質、現在の世界の諸課題について主体的に追究している。	世界各地の諸事象について、地理的条件や日本史と関連付けて考察している。 世界史を時間的・空間的なつながりに着目して考察している。 世界各地、各時代の諸事象の特徴を他地域や他の時代と比較して適切に考察している。	収集した世界史についての諸資料を、客観性や公正さにも配慮した上で適切に取捨選択して活用している。	世界史の大きな枠組みと流れを、地理的条件や日本史とも関連付けながら、理解している。 政治、経済、社会、文化、生活など様々な観点から世界史の諸事象を理解し、その基本的知識を身に付けている。
評価方法	レポート 〔主題学習〕 振り返りシート	定期考査 ワークシート 小テスト等 〔主題学習〕 レポート	定期考査 ワークシート 小テスト等 〔主題学習〕 レポート	定期考査 小テスト等 〔主題学習〕 内容のまとまり

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	第Ⅲ部	1. アジア諸地域の繁栄 2. 近世ヨーロッパ世界の形成 3. 近世ヨーロッパ世界の展開 4. 近代ヨーロッパ、アメリカ世界の成立 5. 欧米における近代国民国家の発展 6. アジア諸地域の動揺	○ ○	○	○ ○	○	a: 16～18 世紀のヨーロッパの主権国家の形成とアジアの諸地域の歴史的展開を理解する。 b: 世界商業の展開の様子とヨーロッパ諸国の王権の強化について，文章にまとめる。 c: ヨーロッパ人の世界進出について地図を活用している。 d: ヨーロッパ諸国が世界に進出をしつつ国際関係をつくりあげたことを理解している。	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査
後期	第Ⅳ部	1. 帝国主義とアジアの民族運動 2. 二つの世界大戦 3. 冷戦と第三世界の成立 4. 現在の世界	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:世界的規模で植民地化が進行したことに関心をもつ。アジア各地の多様な民族運動についても考える。 b: 第一次および第二次世界大戦の経過を理解する。また、諸民族の自立が戦後の冷戦構造を変えて行ったことに気づく。 c: 帝国主義時代や大戦期、冷戦期に特有の資料を適切に活用している。 d: 第一次および第二次世界大戦がその後の世界に与えた影響の大きさについて理解している。	授業態度 提出課題 小テスト ノート提出 定期考査

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。